

授業科目名： 音楽情報処理特論	高専免（情報）の教員免許状 取得のための選択必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 尾崎 昭剛
授業の到達目標及びテーマ 本講義では、計算機上で音楽情報を扱う手法を習得し、実用的な音楽アプリケーション開発のための演習を行う。			
授業の概要 計算機の普及により、1980年代頃から DTM（Desk Top Music）と呼ばれる、机上で作曲、演奏を行う事ができる環境の提供が行われ、演奏や伴奏を支援するシステムの開発が可能となった。特に最近では、計算機に知的な処理を行わせることにより、感性情報処理やエンターテインメントコンピューティングの観点から、人間の音楽活動を支援する音楽情報処理の研究が開始されている。本講義では、計算機上で音楽情報を扱う手法を習得し、実用的な音楽アプリケーション開発のための演習を行う。			
授業計画 第1回：オリエンテーション 第2回：音楽情報処理の概観 第3回：音素材の追究 第4回：ミキシングと信号処理 第5回：音響信号から楽譜へ：音楽聴取・採譜 第6回：アプリケーション開発演習 1 第7回：聴取から理解へ：音楽分析・理解・記憶 第8回：演奏ソフトウェア・アルゴリズム 第9回：自動演奏・自動伴奏 第10回：アプリケーション開発演習 2 第11, 12回：インタフェース・システム・ツール 第13回：音響心理学 第14回：感性・アート・事例紹介 第15回：期末テスト			
テキスト コンピュータと音楽の世界 長嶋洋一・平賀 譲・橋本周司・平田圭二 著			
参考書・参考資料等 コンピュータ音楽 青柳龍也・小阪直敏・平田圭二・堀内靖雄 著			
学生に対する評価 講義中の発表、アプリケーション開発演習、期末テストにより評価する。			